

AUTOMATIC LABELING SYSTEM

OM-A1 印字調整手順

警告

OM-A1 を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つよう to してください。

<サーマルヘッドの位置が適正ではない場合・・・

- 印字に掠れ等が生じる。

OM-A1 印字調整手順



警告

- 交換を行う前に、**操作パネルとコンベヤの電源スイッチを切ってください**。ラベラーの駆動部やコンベヤベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。

■ 作業開始前にご準備頂くもの

六角レンチセット

スパナ (8 mm)

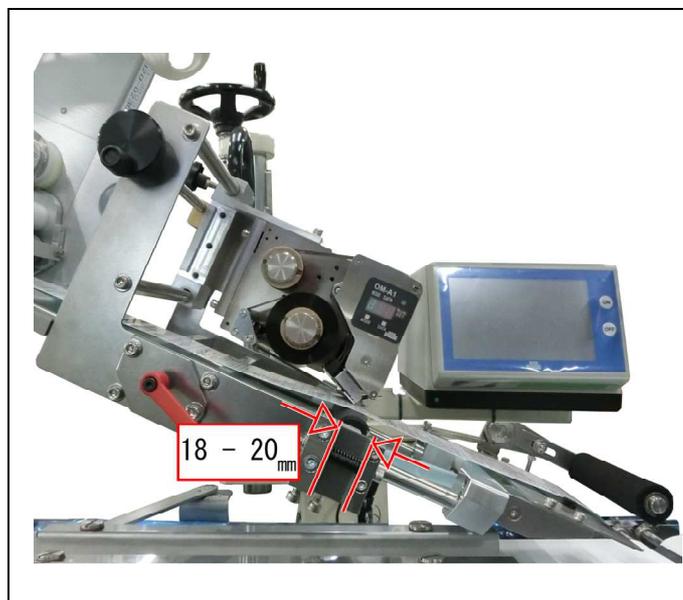


1 コントロールボックス (以下 CB) の電源スイッチをオフに切り替えます。

- **通電状態のまま以下手順を行うと、感電するおそれがあります**

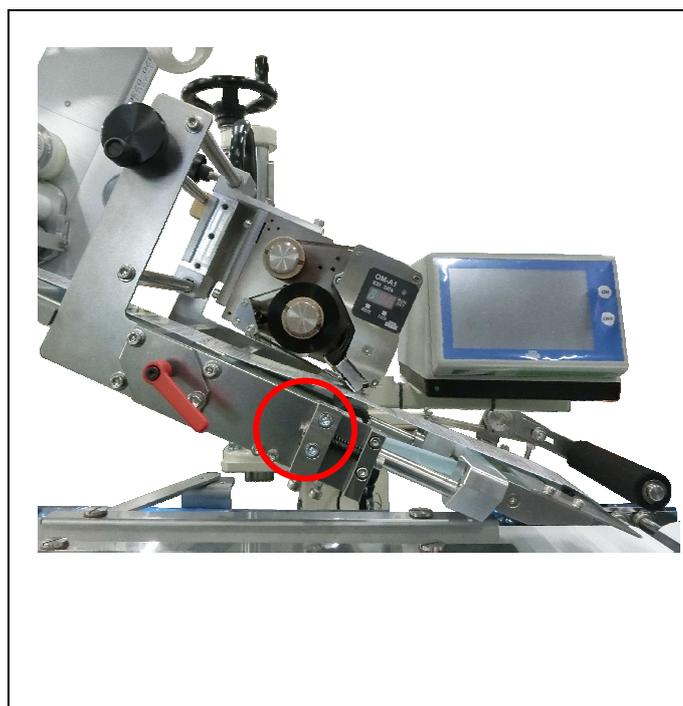
2 図示の箇所 (プラテンローラーの固定位置を決定する箇所) の長さが 18~20 mm の範囲内であることを確認します。

- 手前側、奥側ともに確認します



3 手順2において指定の範囲外 (18~20 mm の範囲外) であった場合、図示のナットを緩めます。

- 手前側、奥側ともに緩めます。



4 図示のネジを緩めます。

- 手前側、奥側ともに緩めます。

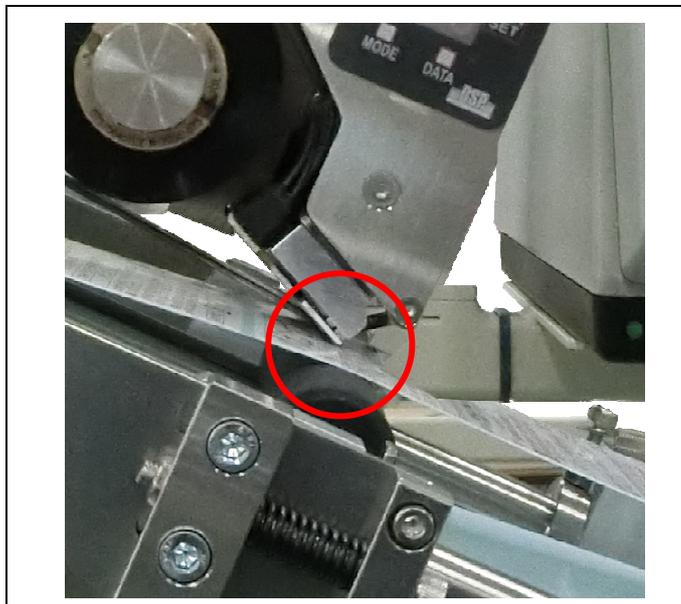
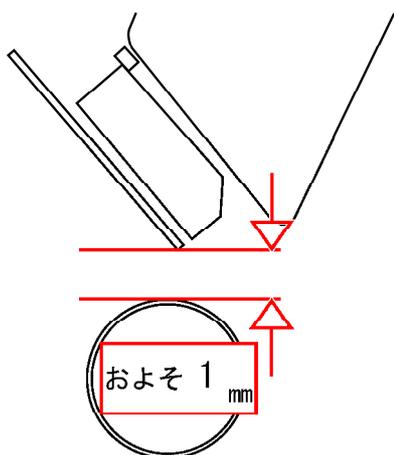


5 図示のネジを緩め、プラテンローラーの固定箇所が手順 2 において指定した 18 ~ 20 mm の範囲内に収まるよう調整します。

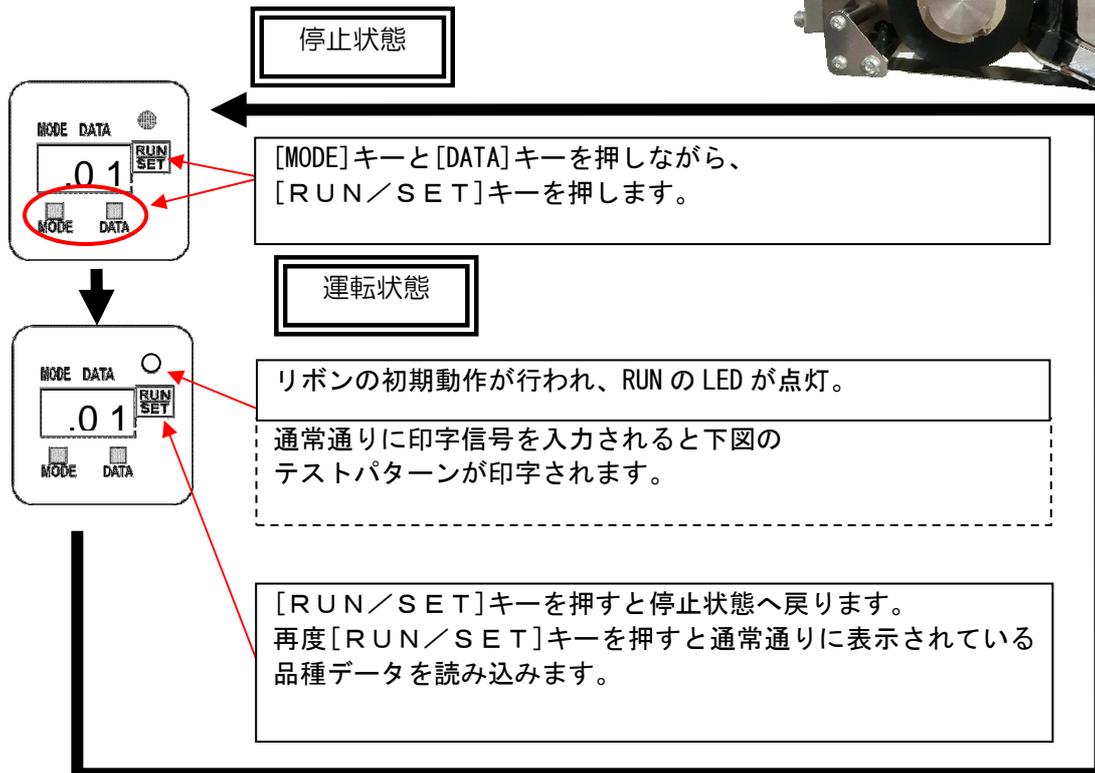
- 手前側、奥側ともに緩めます。
- プラテンローラーはネジを右に回すと A 側に、左に回すと B 側に移動します。
- 調整完了後は緩めたネジおよびナットを十分に締めます。



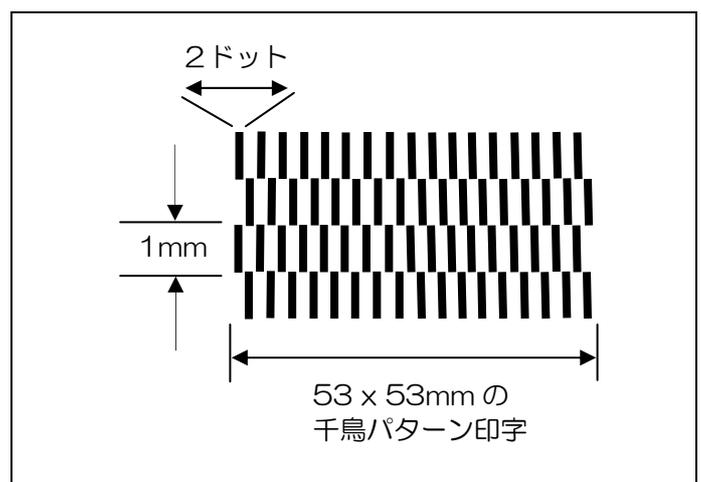
6 サーマルヘッドとプラテンローラーの隙間が 1 mm 前後であることを確認します。



- 7 CBの電源を入れ、テストパターンの印字を行います。
 停止状態で[MODE]キーと[DATA]キーを同時に押しながら、[RUN/SET]キーを押します。
- 本手順書の記述と異なる「複数ボタンを同時に押す操作」を行うと本装置は故障する恐れがあります。「複数ボタンを同時に押す操作」は本手順書に従い正しく行って下さい。



- 8 印字されたテストパターンを確認します。
- 右図の2ドット、1mmの長さの交互の千鳥パターンの印字を行います。
 - 印字長さは53mmになります。



9 ラベラーにラベルをセットします

10 貼付動作(印字動作)を行い、使用可能であることを確認します。